

ひどい痒みの原因が明確になり、症状が落ち着きました。

「原因不明の痒み（アトピー手記）」

小嶋洋一郎 68歳

2017年9月7日

現在68歳の男性です。思い返せば、痒みは20代前半に始まりました。最初は手足の指の付け根、耳の入り口が痒くなり、一般的な痒み止め軟膏を塗っていました。その後、42歳で転職した会社に勤務し、ストレスの為か、痒みが酷くなり、掻きだすと体全体に広がり、掻いたあとがミミズ腫れになることも頻繁にありました。

そこで、あるクリニックにてアレルギー検査を受けましたが、原因不明とのことでした。そして、痒みを抑える日常的に服用する錠剤と、特に症状が酷い時のための錠剤（ステロイド）を処方され、結果的にはステロイド剤を頻繁に服用する状態が10年程続きました。

そんな頃、妻がある大学病院でリウマチと診断され、たまたま知人から松本病院を教えて頂き、お訪ねする事となりました。私は妻の付き添いで伺ったのですが、血液検査を受け、症状をお話して、アレルギーの治療が始まりました。今迄日常的に服用していた薬は一切止め、漢方による治療が始まりました。

今迄の薬を止め、リバウンドも激しく、痒い部分の皮膚をカッターで切り取りたいほどでした。保冷剤を当てて冷やしたりしていました。

しかし、2年程経過した頃、痒みが20分程で治まるようになり、頻度も少なくなってきました。現在も痒みはありますが、以前に比べれば考えられない程少なくなりました。

妻共々、奇跡的な御縁で松本病院松本先生にたどり着けた事を、大変感謝しております。本当に有難うございました。





